

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2010
平成22年

2.15

目次

広報サポーターだより 農業ってすばらしい!若き農業人の挑戦	2
和地校区	4
学校は今... 職場体験の取り組み	5
たはらシティニュース	6
田原市民活動支援センターのページ	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

菜の花電車で
出発進行!



市民発!

広報サポーターだより

農業つてすばらしい！若き農業人の挑戦

こんにちは。広報サポーターの大谷敦子です。田原市は、農業がとても盛んで平成17年の農業産出額が、日本一です。私は、他県から移り住んで3年になりますが、田原のキャベツ畑やブロッコリー畑などの風景が大好きです。（もちろん、おいしい野菜を食べるのも大好き！）

私は、地元の食材を多く扱う仕事をしていますので、農家の方のお話を聞く機会が多々あります。農家の皆さんは、自分の仕事に誇りと自信を持っていて、さまざまな取り組みをされています。今回は、私が興味を持った若き農業人をご紹介します。

大谷敦子

和地町で農業を営む藤井英夫さん。3年前に会社を設立し、主にミニトマトとキャベツを栽培しています。野菜を栽培し販売するだけでなく、農業指導や就農支援、遊休農地の活用、中国での農業指導などを行っています。



1 農業指導・就農支援

就農希望の方へ、農業指導や働きながら就農の自立支援を行っています。仕事以外にも、畑を借りて他の野菜の栽培に挑戦するなど、やる気があれば農業をとことん勉強することができます。現在は、20歳代から40歳代までの13名が、農業のスペシャリストを目指して一生懸命働いているそうです。



▲ミニトマト栽培



▲設楽町の高原キャベツ畑

3 中国での農業指導

日本だけでなく、中国でもミニトマト栽培を行っています。現地で直接指導をしたり、インターネットでも経過観察や指導をしたりしています。また、中国からの研修生も受け入れています。



▲中国の農場での指導



▲中国からの研修生たち

2 遊休農地の有効利用

経営面積は、畑や施設を全部合わせると約11ha。この土地は、担い手がいなかったため使われなくなった畑、いわゆる遊休農地を買い取ったり、借りたりして増やしているそうです。畑は設楽町にもあり、就農希望の方たちが、夏期だけ共同生活をしながら、高原キャベツを栽培しています。

藤井英夫さんってどんな人？ その人柄に迫る

お会いしてびっくりしたのが、とてもお若いということ！現在、藤井さんは34歳だそうです。そして、考える前に動くといふかなりの行動派で、とても熱い心の持ち主です。

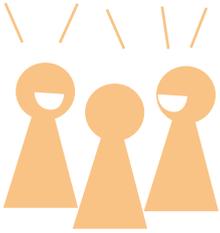
藤井さんの家はもとも農家。畑仕事はよく手伝っていたそうですが、土木作業やホットドックの移動販売など、さまざまな仕事をしてきたそうです。でもやっぱり農業が大好きだった藤井さん。その後は実家の農業を継ぎ、「やるなら違ったことをしたい！」と平成19年7月4日に会社として農業経営を始めました。向上心の強い方で、「頼まれたら、どんなに忙しくても絶対に断りません。限界に挑戦しないと、そこで終わってしまうから」と語ってくださいました。そんな藤井さんの信念は、達成するまでやる。

今後の目標を聞くと、「農業人を増やしていくこと」だそうです。



▲藤井英夫さん

藤井さんのパワフルでガッツのある人柄に魅力を感じて、全国から集まってくる人がたくさん...



農業修行中の渡辺さんに インタビュー

現在、藤井さんのもとで働いて1年になる施設主任の渡辺満さんに、お話を伺いました。



▲渡辺満さん

ー現在の仕事に就いたきっかけは？

【渡辺さん】農業に興味を持ち、始めてみたいと思ったとき、前の会社の後輩から藤井さんを紹介してもらいました。

ーこの職場の良いところは？

【渡辺さん】自由にできるところです！でも何よりも、藤井さんの人柄にひかれました。

ー今後の目標は？

【渡辺さん】今後もここで働きながら学び、ミニトマトの管理を全部自分でできるようになることです。

藤井さんは、渥美半島にたくさんの人に遊びに来て



もらい、農業について知って欲しいという熱意で、さまざまな活動に積極的に参加されています。私も、もっと田原の農業について知りたいし、もっとたくさんの人にも知ってもらいたいと思いました。

広報サポーター カメラリポート

＊冬の使者＊初立池のカモ

豊川用水の最終貯水池、初立池には、毎年10月中旬からカモなどが飛来し、3月ごろまで滞在しています。

今冬は、コガモやマガモ、キンクロハジキなど、6種類が羽を休めています。この時期の雄は、繁殖羽で被われ大変きれいです。20年ほど前には、2万羽近くのカモで池は埋め尽くされていましたが、最近では1〜2千羽ほどに減ってしまいました残念です。

初立池周辺には、約2.4キロメートルの散策路や国指定史跡の東大寺瓦窯跡があり、四季をとおして散策する人の姿が見られます。カモたちが北に帰るころには、散策路の桜も満開となるでしょう。



▲マガモ



▲初立池(下)と越冬中のカモ(上)
写真撮影：葉山茂生さん



▲朝倉登喜子

世代を越えた人の和と 地の利を活かす里づくり

和地

●校区自己紹介 19

基礎データ

- 【人口】1,383人(H21.12.31現在)
- 【世帯】343世帯(H21.12.31現在)
- 【面積】約870ha
- 【公共施設】和地小学校・渥美最終処分場
- 【史跡】皿山古窯群
- 【主な産業】農業



●和地海岸

校区の概要

和地校区は、田原市の南西部に位置し、南側を太平洋遠州灘、北側を赤石山系の山々に囲まれ、東西に伸びる国道42号に沿って集落が形成されています。

海岸は、渥美半島の太平洋岸では珍しく岩場があり、他地区よりも耕地が少ない地形であることから、明治以降までは半農半漁が主な生活形態の地域でした。海・山の産物に恵まれた漁獲収益の高い村で、特に“和地わかめ”は江戸幕府に献納されたと記されています。

その後は、昭和26年の県営暖地園芸試験場の設置、昭和40年代の豊川用水通水や土地改良事業によるほ場整備、構造改善事業「和地温室団地」の建設などにより、施設園芸が飛躍的に発展を遂げました。現在も、施設園芸を中心とした、花き・メロン・トマトなどの栽培が盛んで、昭和49年には、当時の皇太子と皇太子妃(現天皇・皇后両陛下)が、電照菊栽培ご視察のため温室団地に行啓されています。



●温室団地

ふれあい活動

地域コミュニティの拠点施設である市民館は、カラオケ・手芸・囲碁・詩舞・シニア体操など各種の催しに利用されています。毎年11月の市民館まつりでは、老人クラブによる竹馬づくりなど多彩な催しを行い、老若男女多くの校区民がふれあいときずなを深める機会となっています。



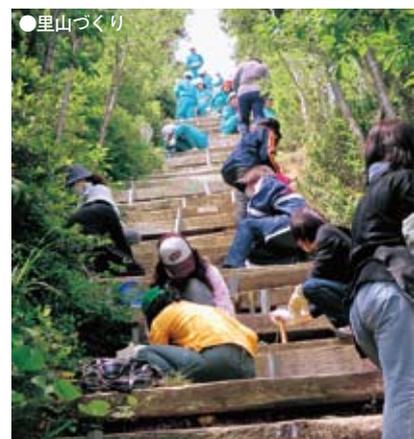
●市民館まつり

また、ビーチボールバレー大会、グラウンドゴルフ大会などの各種スポーツ大会や、カラオケ大会・敬老会などの各種行事にも多くの校区民が積極的に参加し、地域の連帯感の向上につながっています。

里山づくり

和地小学校の北にある山は「裏山」の愛称で呼ばれ、昔から里山として整備が行われ、愛されてきました。現在も、和地小学校の児童とPTAが中心となり、自生するササユリを保護する「ササユリの里」

づくりや「実のなる木」の植栽が行われ、豊かな自然を生かした里山づくりが進められています。



●里山づくり

美化活動

校区の基幹道路である国道42号沿いでは、既設花壇の整備のほか、夏から秋にかけてはコスモスを、冬から春にかけては菜の花を畑に植えて景観形成に努めています。さまざまな花が観光客の目を楽しませているとともに、コスモスの種まきには和地小学校の児童も参加するなど、地域の子どもの学習の場にもなっています。



●菜の花畑



学校は、今...

SCHOOL REPORT 19

職場体験の取り組み

平成18年度から始まった中学生の職場体験も今年度で4回目。今回は、昨年の6月と11月に、市内の中学2年生が市内の事業所などで取り組んだ5日間の職場体験をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

新たな自分への第一歩(東部中学校)

東部中学校では、総合的な学習の時間で「生き方」をテーマに学んでいます。

昨年の6月に行った職場体験では、生徒たちは仕事へのこだわりや仕事に対する責任の重さ、働くことの大変さを体感しました。また、多くの人の優しさにも触れ、働く上でのチームワークの大切さや、思いやりの心も学ぶことができました。昨年の文化祭では、「僕が最もうれしく感じたのは、お客さまや事業所の方から『ありがとう』と言われたときです。たった一言だけど、その一言で今までの疲れも吹っ飛び、また頑張ろうという気持ちになりました」と発表した生徒もいました。

今回の職場体験が、自分自身の夢や目標に向かい、大きな一歩を踏み出すきっかけになったようです。



ゴム製品製造

●不良品を出さないように、慎重に作業



レストラン

●アドバイスを受けながら調理に挑戦



鉢物栽培

◀きつい仕事にも進んでチャレンジ



動物病院

初めてのトリマー体験



保育園

●園児を喜ばせた紙芝居の読み聞かせ

愛情を込めて丁寧に袋詰め▶



スーパー

未来の自分へ向かって(伊良湖岬中学校)

伊良湖岬中学校では、昨年の6月に職場体験学習を行いました。生徒たちは、学校で事前に働くことの意義を考えたり、人生の先輩を招いてお話を聞いたりしました。短い期間ですが、生徒たちは学校を離れ、さまざまな仕事に挑戦しました。

職場体験が始まり、初日は緊張した面持ちの生徒がほとんどでしたが、日を追うごとに笑顔で園児や児童、お客さんと接していくようになりました。事業所の方々からは、「生徒たちの笑顔が素敵でした」「この経験で感じたことをこれからの生活に生かして、がんばってください」など、温かい言葉をたくさんいただきました。

生徒たちは、これまでに経験したことのない貴重な体験をすることができました。

1月25日(月)

地元の食材で
おいしく元気に！



▲「好きな食べ物は何？」と聞かれ、「何でもおいしく食べるよ」と答える市長

学校給食週間(1月24日～30日)に合わせ、地元産の食材をふんだんに使った献立で給食が実施されました。田原東部小学校

には、鈴木克幸田原市長らが訪問。児童たちと会話を弾ませながら、田原産の牛肉などが使われた「牛丼」を楽しく味わいました。

1月26日(火)

防火意識を高め
文化財を守る



▲機敏な動作で、博物館に向けて一斉放水を行う消防隊員たち

第56回文化財防火デーに合わせ、田原市博物館で防火訓練が実施されました。行われた訓練は、火災通報や入場者の避難誘導、

文化財の搬出、一斉放水など。参加者らは、貴重な文化財を守るため、本番さながらの緊張感で、一連の動作を再確認しました。

1月13日(水)

地域づくりの情熱
総務大臣表彰！



▲「この活動をできる限り長く続けていきたい」と話した金原さん(左)

平成21年度地域づくり総務大臣表彰で団体表彰された『あかばね塾』の代表・金原康

朗さん(若見町)が、田原市長を尊敬訪問し、受賞の喜びを語りました。今回の受賞は、同団体の環境保護活動などによる、地域づくりへの取り組みが評価されたものです。



田原市民活動支援センターのページ

平成22年度 田原市市民協働まちづくり事業補助金 申請を募集します

◎ 市民協働まちづくり事業補助金制度とは?

市民活動団体が提案する公益性の高い活動で、その活動の自立を促し、目的を達成するための補助金制度で、平成21年度にスタートしました。

平成21年度 事業報告会



3月27日(土) 13:30~
田原文化会館 201~203会議室

平成21年度採択団体が、補助事業の成果報告を行います。事業概要、事業効果、今後の展望などを発表します。補助金を申請する際の参考にもなりますので、ぜひご聴講ください。

<申込不要>

対象事業 市内で実施される、または市民に対して実施される事業で、先駆性および創意工夫など市民感覚の柔軟なアイデアや発想のある福祉、まちづくり、環境保全、男女共同参画などの事業

対象団体 市内で公益活動を行う5人以上で構成された団体

補助額 1事業につき補助対象経費の1/2(上限20万円)

応募期間 3月1日(月)~4月9日(金)【必着】

審査方法 書類審査・公開審査会(4月中)

制度説明会 3月6日(土) 19:00~ 田原文化会館 201・202会議室

*詳細は公共施設設置のチラシや田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp/> をご覧ください。

市民協働まちづくり会議委員を募集します

田原市では、市民参加と協働によるまちづくりを推進するため、市民・市民活動団体・事業者・市の機関がそれぞれの役割を認識し、お互いに協議をする場として、市民協働まちづくり会議を設置しています。会議は、市民代表、団体関係者、学識経験者などで構成しています。今回は、そのうちの公募市民を募集します。

応募資格 市内に在住・在勤・在学の方、または市内でボランティア活動などに参加している方

募集期間 2月15日(月)~3月19日(金)

募集人員 3名以内

選考方法 応募者多数の場合は市の選考により決定

報酬等 無し

任期 2年(平成22年4月~平成24年3月)

会議 平成22年度は2~3回を予定

*応募用紙は市役所市民協働課または田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp/> より入手してください。

⇒ 上記の補助金制度や委員募集についての申込み・問合せ / 田原市役所 市民協働課
TEL: 0531-23-3504 FAX: 0531-23-0180 Email: kyoudou@city.tahara.aichi.jp

今後の市民活動ニュース

*1月15日号(P7)掲載のNPO法人渥美半島ハイキングクラブの連絡先に誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。誤 Tel/Fax 0531-38-0310 → 正 Tel/Fax 0531-38-0313

日時	内容	会場ほか	連絡先
3/14(日) 14:00~	渥美混声合唱団演奏会 《特別ゲスト》 ヴァイオリン&ピアノ/宗川論理夫・鈴木直己 アコーディオン/戸田みわ子	田原文化会館 文化ホール 入場券:500円(全席自由)、 託児有り*申込~3/10(水)まで 指揮/森下静子 ピアノ/宮部まどか	渥美混声合唱団 Tel 090-7304-6670(吉田) Fax (0531)32-3362 Tel 090-2948-5577(渡会) Email atsumikonseai@yahoo.co.jp

市民活動支援センターでは、NPO・市民活動相談などを受け付けています(毎週金・土・日午後2~7時、田原文化会館フリースペース)。同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎です! *紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先: 市役所市民協働課 TEL: 0531-23-3504 FAX: 0531-23-0180 Email: kyoudou@city.tahara.aichi.jp
紙面作成・編集: 田原市民活動支援センター





募集

WANTED

田原市臨時職員 (学校臨時用務員)

▼募集人員 3名 ▼対象 ② 次の要件をいずれも満たす方 ①普通自動車免許をお持ちの方 ②心身ともに健康な方 ▼勤務場所 田原東部小学校・田原中部小学校・野田中学校
▼勤務内容 施設・設備の整備、給食の配膳および学校の管理運営のために必要な業務 ▼勤務形態 原則、月々金曜日(祝日を除く)午前8時～午後5時のうち6時間 ▼採用期間 4月1日(木)～9月30日(木) ▼選考方法 面接(期日など詳細は後日通知) ▼賃金 時

給850円 ▼申し込み 3月3日(水)までに教育総務課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出

▼教育総務課
☎23局3530 FAX22局3811

田原市臨時職員 (図書館業務)

▼募集人数 若干名 ▼勤務場所 ①中央図書館 ②渥美図書館 ▼勤務形態 ①週5日、午前8時30分～午後5時15分 ②週5日、午前8時30分～午後5時15分/平日午後(4時間)/土・日曜日・祝日、午前8時30分～午後5時15分 ▼採用期間 ①4月20日(火)～9月30日(木) ②4月1日(木)～9月30日(木) ▼賃金 時給810円 ▼選考方法 面接・書類選考 ▼試験日時 3月9日(火)午後1時30分～ ▼申し込み 3月2日(火)午後5時までに、申込用紙を中央図書館一般カウンターへ提出/郵送の場合は3月2日(火)必着/募集要項と申込用紙は、各図書館にて配布(図書館ホームページからもダウンロード可) ▼その他 詳しくは募集要項をご覧ください。
▼田原市図書館(中央図書館)
☎23局4946 FAX23局4646
http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library

「サンテファーム」および 「ぶれあい農園」利用者

いずれも1区画20㎡(5m×4m)の広さで、利用料は年額5000円です。申し込み多数の場合は抽選により決定します。



■サンテファーム

▼場所 田原市野田町芦ヶ池地内
▼区画数 90区画 ▼利用期間 4月1日～平成23年3月31日 ▼申し込み サンテパークにある利用許可申請書に必要事項を記入のうえ提出 ▼受付期間 2月16日(火)～3月5日(金) / 午前8時30分～午後5時 ▼サンテパークたはら
☎25局1234 FAX25局1235

■田原市民ぶれあい農園

▼場所 田原市田原町北荒井地内
▼区画数 50区画 ▼利用期間 4月1日～平成23年3月31日 ▼申し込み 農政課または営農支援センターにある利用許可申請書に必要事項を記入のうえ提出 ▼受付期間 2月16日(火)～3月5日(金) / 午前8時30分～午後5時15分 ▼営農支援センター(赤羽根市民センター)
☎45局3114 FAX45局3419

生涯学習情報誌への広告

田原市教育委員会では、自主財源の確保と市民サービスの向上を目的に、生涯学習情報誌(平成22年度上半期)への有料広告を募集します。

▼募集枠数 表紙2枠、裏表紙10枠
▼掲載場所 生涯学習情報誌(平成22年度上半期)の表紙および裏表紙 / 発行部数19900部 ▼広告のサイズおよび掲載料 ①一種広告 縦4.5cm×横8.5cm、表紙1回2万円/裏表紙1回1万5000円ほか(2種広告および割引制度あり)
▼申し込み 3月15日(月)までに申込書に必要事項を記入し、署名・押印したものに広告原稿、会社概要などを添付して直接提出 ▼その他 申し込みの際には、要綱・要領などの内容をご確認ください。(申込書および要綱などについては、田原市教育委員会ホームページからダウンロード可) 詳しくはお問い合わせください。
▼生涯学習課
☎23局3531
FAX22局3811
http://www.city.tahara.aichi.jp/section/kyoiku/



生活

LINE

食育啓発ポスターコンクール 入賞者決定と作品展示

愛知県では、児童に食育について考える機会を持ってもらうため、小学4年生から6年生を対象に、食育啓発ポスターの募集を行いました。本市からは、62点の応募があり、優秀賞に1点、佳作に3点が入賞しました。そこで、多くの市民の皆さんに作品をご覧いただけるよう、次のとおり応募作品の展示を行いますので、ぜひご覧ください。



▲鈴木雄太くんの作品

●優秀賞（愛知県教育委員会賞）

鈴木雄太くん（赤羽根小学校4年）

●佳作

太田安美さん（赤羽根小学校6年）
河合連太郎くん（田原中部小学校4年）
本庄逸真くん（田原中部小学校4年）

▼展示期間 3月2日（火）～3月14日（日） ※月曜日休館 ▼場所
田原文化会館 ギャラリー

▼農政課

☎ 23局3517 FAX 22局3817

春季全国火災予防運動

3月1日～3月7日

これからの季節は、寒さも和らぎ、火への注意も緩みがちになります。火災から尊い命を守るために、火の取り扱いには十分注意しましょう。

◆住宅火災から命を守る 7つのポイント

- ①寝タバコは、絶対やめましょう。
- ②ストーブは、燃えやすいものから離しましょう。
- ③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう。
- ④逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置しましょう。
- ⑤火災の拡大を防ぐために、寝具や衣類、カーテンなどは、防災製品を使用しましょう。
- ⑥火災を最小限に抑えるため、住宅用消火器などを設置しましょう。
- ⑦お年寄りや体の不自由な方を守るために、近所の協力体制を整えておきましょう。

平成21年度防火標語

消えるまで ゆっくり火の元
にらめこ子



▼消防課

☎ 23局4074 FAX 23局0180

税

TAX

土地台帳の閲覧可能項目から 所有者住所を削除します

現在、土地台帳については、税務課窓口で、専用端末により閲覧していただいておりますが、昨今の個人情報保護意識の高まりを受け、4月1日（木）から所有者住所を削除させていただきます。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

▼税務課

☎ 23局3510 FAX 23局0180

寄付

DONATION

次の方々からご寄付をいただきます

した。ご厚意に感謝します。

▼1月14日、平成22年福江小学校区（福江・保美）厄年一同様から、福江小学校の教育向上のため、普通教室全面上クロス貼り掲示板2基、図書34冊。

▼1月21日、株式会社ジップドラッグ様から環境保護活動のため23万4520円。

ふるさと寄附金

▼1月8日、笠井喜美子様（東京都）から金10万円。

◆お詫びと訂正

広報たはら2月1日号のお知らせに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

◆13ページ募集記事

田原市嘱託員「バス運転業務員」

（正）▼勤務形態 田原市役所は原則週35時間以内、ライフレンドは月々土曜日/午前9時～午後3時30分

（誤）▼勤務形態 月々日曜日/午前9時～午後5時

◆16ページ募集記事

田原福祉専門学校ホームヘルパー科2級コース受講生

（正）▼受講料 17万円/免除規定あり（受講開始前3か月以上田原市民である方、または現に市内で...

（誤）▼受講料 17万円/免除規定あり（受講開始前3か月以上田原市民である方で、現に市内で...

広がる未来へ

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

46

●地球温暖化防止③ 2月は省エネルギー1月間です

寒い時期には、暖房機器を使用する回数が増え、CO₂の増加に伴う地球温暖化への影響が心配されます。そこで、家計にも地球にもやさしい省エネ行動をぜひ実践してみませんか。

◆省エネ行動の例

- 暖房を普段よりも1℃低くする(20℃に設定する)
¥年間約2000円のお得!
- シャワーを1日1分、家族全員が減らす ※ただし、4人家族の場合
¥年間約4000円のお得!
- 1日1時間テレビを見る時間を減らす
¥年間約1000円のお得!
- 1日5分間のアイドリングストップを実行する
¥年間約2000円のお得!



●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人600人・事業所20か所(1月末現在)

◆「たはらエコチャレンジ宣言」に登録しましょう!

【登録方法】

- 1 登録シートに、氏名・住所など必要事項を記入し、家庭でできる省エネ行動の一覧の中で、自分でもできると思うものにチェック
- ※登録シートは、市役所エコエネ推進室・渥美支所・赤羽根市民センターで配布しています。
- 2 登録シートを市役所エコエネ推進室・渥美支所・赤羽根市民センターのいずれかに提出
- 3 後日、登録証と記念品が郵送

常に登録証を持ち歩き、省エネ行動を心がけましょう。また、年に一度、実践項目の取り組み状況を報告すると、内容に応じて表彰されます。詳しくは、ホームページをご覧ください。



▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.nagano.jp/>



省資源のリサイクルにチャレンジしよう!

「もやせるごみ」として、出していたっている使用済みのてんぷら油(廃食用油)。今回は、廃食用油のリサイクル法の一つとして、廃油ろうそくの作り方を紹介します。

廃油ろうそくを作ってみよう!

♥用意するもの

- 廃食用油(こしたもの)
- 廃油凝固剤
- クレヨン(色付け用)
- タコ糸
- 割りばし(竹串でもよい)
- 空容器(金属製の容器や広口びんなど溶けにくいもの)



♥作り方

- 1 クレヨンを細かく削る。
- 2 廃油ろうそくの芯になるタコ糸を、容器の中央にセットする。芯を割りばしで挟み、容器に固定する。
- 3 鍋などで80℃〜85℃を目安に、廃食用油を温め、刻んだクレヨンを入れる。
- 4 クレヨンが溶けたら、凝固剤を入れてかき混ぜ、油が固まる前に容器へ入れる。
- 5 冷めて固まったら出来上がり。

アレンジも出来るよ!

廃油ろうそくは、電灯のような明るさはありませんが、ろうそくを灯した時の雰囲気味わったり、防災用に備えたり、活用方法はあなた次第です。また、好きな色を付けることで、きれいなオリジナルの廃油ろうそくに、アロマオイルを入れれば、ほのかに良い香りがするアロマキャンドルに大変身! 廃食用油の独特なおいを消すことが出来ます。



▼清掃管理課

☎23局65508 FAX23局0180



廃油ろうそく作りに、チャレンジしてみたいかですか。出来あがりてんぷら油を回収しながら家族でリサイクルについて、話し合ってみましょう。



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

22

交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎23局3507

姉妹都市・設楽町の津具保育園児と「菜の花交流」

今回は、1月15日(金)に田原市内で行われた「菜の花交流」をご紹介します。

●交流のきっかけ

平成14年12月、旧田原町農業委員会が豊川用水を通じて上流域から届けられる「水」への感謝を込めて、設楽町の津具保育園に菜の花を贈りました。これがきっかけとなり、その後も一年ごとに相互訪問を続けています。

●津具保育園児が田原市にやってきました



▲どのイチゴにしようかな

8回目となる今回は、津具保育園児10名が菜の花が咲き誇る田原市にやってきました。サンテパルク^{かんそう}たはらで遊んだ後は、鈴木皖^{かんそう}三さん(赤羽根町)のハウスで「イチゴ狩り」。真っ赤に熟したイチゴに囲まれて、園児たちの目はキラキラ。

そしてメインは「菜の花狩り」です。一面に広がる菜の花畑に飛び込んだ園児たちは、花を摘んだり髪飾りを作ったりと、ひと足早い春を満喫しました。



▲菜の花畑を駆け回る園児たち



▲大きな花束ができたよ

受け入れを行ったNPO法人田原菜の花エコネットワークの皆さんは、一年ぶりに再会した園児たちの喜ぶ姿を見て、終始目を細めていました。

次回は、クリスマスに合わせて、津具保育園へ菜の花を届ける予定です。

※地区ごとに放送される内容は配信されません

●防災行政無線情報

☒ musen@city.tahara.aichi.jp

・防災行政無線(同報無線)で市内全域に放送した内容

- ・気象警報(波浪警報を除く)および津波注意報・警報
- ・地震情報(市内で震度1以上)
- ・東海地震注意情報などの東海地震関連情報

●防災情報

☒ pousai@city.tahara.aichi.jp

田原市では、皆さんの携帯電話やパソコンへ防災情報などをお届けするメール配信サービスを行っていることをご存じですか。

◆メール配信している情報



こんにちは、かんちゃんです。

田原市では、皆さんの携帯電話やパソコンへ防災情報などをお届けするメール配信サービスを行っていることをご存じですか。

かんちゃん

防災まめ知識

安心安全ほっとメール

57



忍びよる巨大地震

●防犯情報

☒ pouhan@city.tahara.aichi.jp

・児童・生徒を対象とした防犯情報(不審者情報など)

◆登録方法

■携帯電話から

・各情報のメールアドレスへ空メール(件名・本文は空欄)を送信

■パソコンから

①田原市ホームページ(<http://www.city.tahara.aichi.jp/>)を開く

②「救急・災害」メニューの「安心安全ほっとメール」を選択

③ガイドの手順で、各情報の受信を希望するお持ちのメールアドレス(携帯電話・パソコン)を登録

◆解除方法

・田原市ホームページの登録案内ページにある配信解除フォームに入力、または各情報のメールアドレスへ、本文に「登録解除」と記入して送信

▼防災対策課 ☎23局3548

歴史探訪

クラブ

其の
107



History Inquiry Club

文化財課 ☎23局3635

FAX 22局3811

田原が誇る思想家・岡田虎二郎

明治時代になると、日本には西洋の思想や文化、技術など、これまでにない新たな文化が劇的に押し寄せてきました。人々は、その新しい時代の波を積極的に受け入れていきます。しかし、多くの知識人は、いち早く輸入された思想に限界を感じ、行き詰まり、心身のバランスを崩していったようです。そこで、



▲静坐姿の岡田虎二郎

心身のバランスを保つための方法として、日本人が長い時間をかけて自然と身に付けていた姿勢や呼吸法、すなわち「静坐法」が支持されたのです。腰を立てた姿勢と腹式呼吸を身につけることで、心身のバランスを整えることができます。

虎二郎は、日本人なら静坐、西洋人ならダンスでも良い、と言っています。すなわち、その民族本来の自然体が大事であると考えており、虎二郎の思想の宇宙的な大きさを感じます。静坐をとおして、日本人の修養を行おうとした壮大な日本人改革であったのです。科学的な理論としては、静坐はわかりづらいといえます。理解するために、理屈を考えようとしてしまうかもしれません。し

かし、その時、虎二郎はきつとこう言うでしょう。「まあ、黙って座りなさい」と。

ここで、虎二郎の静坐法をご紹介します。なお、静坐の方法は松浦邦保さんの資料を引用したものです。

●静坐法

【姿勢】

- 両足は、土踏まずのところで、深く×形に重ねる。ひざ頭を少し開く。
- 両手は、どちらかの親指を軽く握って腹につけ、手のひらを下に向けて、ひざのうえに置く。
- 目と口は、力まずに閉じる。
- 腰骨を思い切り前へ出す。(腰を立てる)
- あごを引き、肩の力を抜き、みぞおちを落とす。

【呼吸】

- 口を結び、鼻からゆっくりと息を出す。
- 息を少しずつ出しながら、へその下に力を入れていく。
- 息を全部出さず、苦しくなる前にはくのをやめる。
- 吸うときは、無理に吸い込まず、へその下をゆるめると、自然に入ってくる。



▶静坐の姿勢腰を立てやや前かがみの重心

これらを30分は続けますが、初めは静坐の姿勢を作ることすら難しいかもしれません。この腰を入れる動作、腹式呼吸の方法は、大リーグ・シアトルマリナーズのイチロー選手も応用しているそうです。次回は、虎二郎の語録をご紹介します。(増山)

今月の「表紙」

▼満開の菜の花に囲まれて、じっと、菜の花電車、が来るのを待つ私。きつと通りがかりの人は、かなりの鉄道ファンだと思ったはず…。菜の花の香りに包まれていると、風は冷たくても、まるで春が来たような気分。私も、菜の花電車に乗って、出かけてみようと思います。(O)

【表紙の写真】菜の花電車